

大普賢岳道迷い(2021年10月)

無双洞から和佐又山までは1本道と思い込み赤テープを信じて進み道迷い。GPSで確認しルートから外れてたため元の道に戻った。



解説

大普賢岳に登ることにしました。この山はガイドブックを見てもかなり厳しそうで、敷居の高い山だったので。それが過ちの第一歩でした。(中略)

9時間かかるかなということ、うまくいかなければ10時間以上かかることを予想すべきで、そうであればもっと早めのスタートにしなければいけませんでした。

第3の過ちは、七曜岳を通過し、大峯奥駈道と分かれてからは、和佐又山ヒュッテに戻るルートしかないと思い込んでしまっていたこと。無双洞を過ぎたところで分岐し、東に進めば林道に出るのですね。その林道に誘導するためのピンクのテープを和佐又山ヒュッテに導くためのテープだと信じて疑わずに進みました。テープがある、テープだけでなく文字で書いた標示まである、だから絶対に正しいんだ…。でもGPSは予定ルートから離れていってしまう…。わけがわからなくなりました。下山後、山と高原地図を見直して、林道へのルートがあることを知るまでは、悪質なイタズラであり、そのイタズラのせいで、多くの人が道に迷ったのではないかと思い、怒りを覚えていましたもの…。思い込みや錯覚というのは危険ですね。(HP参照)

「思い込み」は、ありえないことも正当化してしまう。「思い込み」の対策は目の前の出来事を受け入れること。道迷いで一番難しい作業だ。